

24日の海外市場の影響もあり、週明けの国内株式市場は下落

- 新型コロナウイルスの影響で海外株式市場の下落を受け、週明けの国内株式市場は下落しました。
- 事態が長期化しなければ、国内向けにビジネス展開している企業やJ-REITへの影響は比較的小さいとみています。

新型コロナウイルス問題は、短期的には国内経済の減速要因に

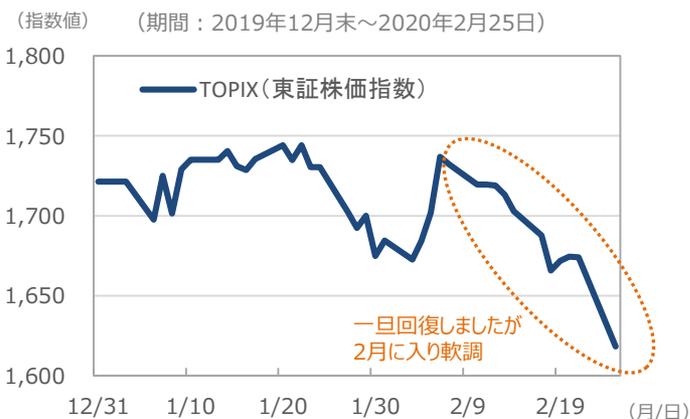
- 新型コロナウイルスの感染拡大懸念が再び広がったことで、24日の米国株式は先週末対比3.4%程度下落、欧州株式は同4%程度下落しました。これを受けて、25日の国内株式は同3.3%下落しました。*
- 韓国、イタリア、中東でも新型コロナウイルスに対する感染拡大が報じられたことで、世界のサプライチェーンに悪影響を与え、世界景気の減速が避けられないとの見方が強まっています。国内株式市場においても株安、リスクオフの流れとなる可能性があり、今後の動向を注視する必要があります。

短期的な収束を期待しますが、国内株式市場に対するリスクオフ姿勢が続くと予測。 内需向け事業を展開する企業やJ-REIT市場への影響は、事態が長期化しなければ限定的。

- 事態が早期収束に向かうことが期待されますが、国内株式市場では、これまでの楽観論よりもサプライチェーンが機能せず実体経済への悪影響を懸念するとの見方が強まっています。但し、内需向けにビジネス展開をする企業では、現時点では大きな支障はみられておらず、事態が長期化しなければ、これらの企業への影響は限定的なものにとどまるとみています。
- J-REIT市場は、旅行者向けのビジネスを行うホテルREITなどへの影響は懸念されますが、下げ幅は限定的です。株式市場でリスクオフ姿勢が強まっていることもあり、事態が長期化しなければ、安定した賃料収入が期待できるJ-REITは今後も堅調に推移するとみています。

* 米国株式の騰落率はS&P500種株価指数、欧州株式の騰落率はDAX指数、CAC40指数等、国内株式の騰落率はTOPIX指数をベースに算出。

東証株価指数 (TOPIX)の推移



東証REIT指数の推移



出所：FactSetデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

※当資料の内容は、過去の実績および作成時点での弊社見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。